

科 目 名		学 年		
社会科学Ⅱ: Social ScienceⅡ		5MB		
教 員 名		高橋正和: TAKAHASHI Masakazu		
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
1	100分×15	必修	講義・前期	○
授 業 概 要	本書は、開港途上国の近代化モデルといわれる明治期の近代化以前に、戦国期から江戸期を通して長い準備期間と成熟期を経て初めて明治の近代化が成し遂げられたことを、さまざまな人物像を通して、明らかにしている。この考察を通して、現代の私たちは、これからの日本の進むべき針路を学ぶことができよう。			
	到 達 目 標	評 価 方 法		
1. 我が国の西欧近代科学の受容について理解できる。2. さまざまなアルス(技芸)の持つ意味について説明できる。3. 日本の近代史について説明できる。		中間試験35%、期末試験35%、レポート15%、自学自習15%によって評価する。		
学 習 ・ 教 育 目 標	F③④	JABEE基準1(2)	(a)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	はじめに	本書の概説と講義の進め方	
	第2	和算	数学の天才たちによる独自の発展	
	第3	天文	天文学と改暦	
	第4	化学・物理	化学・物理の基礎理論の受容	
	第5	機械	からくり(時計)とエンターテイメント	
	第6	地図	伊能忠敬の業績	
	第7	医学	蘭学と医師の努力	
	第8	中間まとめ	これまでのまとめとして中間試験を実施する。	
	第9	土木・建築	総合産業としての鉱山開発	
	第10	本草学	博物学への関心	
	第11	軍事	西欧科学技術の象徴としての軍勢力	
	第12	絵画	浮世絵の驚異	
	第13	印刷	出版業の活況	
	第14	南蛮と蘭学と西欧	外国文化の高度にして効率的な需要	
第15	まとめ	講義内容のまとめと授業評価アンケート調査を行う。		
自学自習の内容	レポートを課す。			
関連科目	社会科学Ⅰ、法学、歴史			
教科書	「江戸人物科学史」(金子務、中公新書)			
参考書				
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。			
副担当教員				
備考				